

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|-----|---|-----------------|---------------|-------|-----|----------|----|----------|---------|
| 授業科目名 <英訳> | 技術経営学概論 Introduction to Technology Management | | | 担当者所属・ 職名・氏名 | 医学研究科 | 特任教授 | 寺西 | 豊 | | | |
| | | | | | 医学研究科 | 特任教授 | 室田 | 浩司 | | | |
| | | | | | 医学研究科 | 特定准教授 | 小柳 | 智義 | | | |
| | | | | | 医学研究科 | 特定准教授 | 早乙女 | 周子 | | | |
| 配当 学年 | 専門職 | 単位数 | 2 | 開講年度・ 開講期 | 2015・ 後期不定 | 曜時限 | 金6 | 授業 形態 | 講義 | 使用 言語 | 日本語及び英語 |

[授業の概要・目的]

コースの概要

- ・技術を基礎に事業展開を図る事業において、経営における知的財産権の位置づけ、国際標準への対応等の基礎知識を習得し、事業を起こす人材を養成する。
- ・知識集約型産業の代表である医療産業（創薬／医療機器・デバイス）分野における研究開発の重要性と技術を基礎とした事業展開に必要な研究開発のマネジメントの知識とスキルを習得し、事業創生に参画できる人材を養成する。
- ・技術経営戦略、テクノロジーファイナンス、知的財産マネジメント、国際標準戦略、オペレーションマネジメント、サプライチェーンマネジメント等の要素を習得し、オープンイノベーションの促進に貢献できる人材を養成する。

教育・学習方法

- ・講義を中心に行い、起業経験や新興事業での事業経験のある外部講師から経験に基づく事例紹介の機会も作る。
- ・課題設定と討論による知識のブラッシュアップも行う。

[到達目標]

- ・技術シーズを生み出す研究開発の過程におけるプロジェクトマネジメントに不可欠の要素を習得し、イノベーション促進に貢献できるコーディネーターの役割を担える知識・スキルが習得出来る。
- ・起業する場合に、技術に基盤を置くビジネスモデル作成に必須の技術シーズの価値評価能力が習得できる。

[授業計画と内容]

- | | | |
|------|--------|-----------------------------------|
| 第1回 | 10月2日 | ガイダンス、科学技術論（寺西） |
| 第2回 | 10月9日 | 先端科学技術1（山本）：創薬探索プロセス |
| 第3回 | 10月16日 | 先端科学技術2（池田）：臨床開発プロセス |
| 第4回 | 10月23日 | 先端科学技術3（内海）：臨床開発と薬事 |
| 第5回 | 10月30日 | 海外事例（小柳） |
| 第6回 | 11月6日 | 知財制度と知財戦略（渡邊）：パテントプール/標準化戦略 |
| 第7回 | 11月13日 | 事業戦略と知財（宗定） |
| 第8回 | 11月20日 | 技術経営戦略（寺西）：RDマネジメント |
| 第9回 | 11月27日 | 技術マーケティング（山本） |
| 第10回 | 12月4日 | テクノロジーファイナンス（室田） |
| 第11回 | 12月11日 | オペレーションマネジメント1（室田）：サプライチェーンマネジメント |
| 第12回 | 12月18日 | オペレーションマネジメント2（早乙女）：ライフサイクルマネジメント |
| 第13回 | 12月25日 | 人的資源管理（小柳）：「人・もの・金・情報」の生かし方 |
| 第14回 | 1月8日 | 事業創造1（未定）：医用機器・デバイス |
| 第15回 | 1月15日 | 事業創造2（寺西）：科学技術政策 |

技術経営学概論(2)へ続く↓↓↓

技術経営学概論(2)

[履修要件]

知財必修・MPH選択

[成績評価の方法・観点及び達成度]

以下の3点を総合的に勘案して評価する。

- ①発言頻度（ディスカッションへの積極的参加等）
- ②平常点（出席を含む）
- ③課題レポート内容

[教科書]

必須テキスト：なし
講師が作成したPPT資料で代用。

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学習（予習・復習）等]

特になし

(その他（オフィスアワー等）)

人間健康科学系専攻学生の受講可否：可

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。